

報 館 おおがた

令和4年5月1日現在
世帯数：3,308 戸
男：3,607 人
女：3,750 人
計：7,357 人



岡田地区町会連合会長
鳥羽 孝和

新任にあたっての思い

本年、4月1日より岡田地区の町会連合会長の任につきました東区町会の鳥羽孝和と申します。

各町会の行事もコロナ感染拡大により例年通りの実施ができず、2年余り過ぎてしまいました。そんな中での地域つながりや絆が薄れつつあり、お互いの顔が見える生活も困難な時代となっております。

また岡田地区では高齢者の方も、移住者の方も増加しております。どなたも安心して笑顔で暮らせる岡田地区となるよう、皆様のご協力を得て、取り組んでいきたいと考えております。どうかよろしくお願いたします。



岡田地区地域づくりセンター長補佐
大久保 圭司

4月から岡田地区地域づくりセンターにセンター長補佐として配属になりました大久保圭司と申します。

岡田には、令和元年度に出張所職員として、窓口や財産区業務などを1年間担当しておりましたが、今回は、岡田地区地域づくりセンターが強化モデル事業実施地区となったことにより、センター長補佐として配属されました。

岡田地区は信州大学の近くといつこともあり、多くの学生さんが住んでいます。地域を元気にしていくためには若い方の力が必要だと思いますので、学生さんなどが地域活動への参加に繋がるように、センター長を補佐しながら取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



女鳥羽中学校教頭
柳澤 修

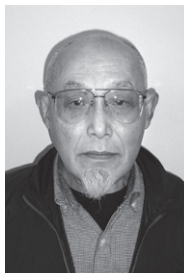
今年度より女鳥羽中学校教頭としてお世話になっております。前任校は下條村立下條中学校で、3年間の単身赴任生活を終え、松本市に戻ってきました。教科は保健体育で、サッカーをやっていました。

学校と地域との連携については「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念が示され、地域と学校が連携・協働していくことが今まで以上に重要になって

きています。地域の皆様には登下校時の見守りをはじめ、様々な点で大変お世話になりますが、よろしくお願いたします。女鳥羽中学校の生徒のみなさんとの出会いを大切にし、女鳥羽中学校と生徒のみなさんのために精一杯取り組みます。



4年間の在任期間のうち後半の2年間は、コロナ禍によりほぼ何も出来ずに終わってしまいました。4年間を振り返れば「おからだ夏まつり」を1回しか開催出来なかった事が心残りです。今年岡田地区地域づくりセンターが強化モデル地区に指定されました。今後の地域づくりの進展・活性化に期待しています。地区の皆さん方には大変お世話になりました。ありがとうございました。



前町会連合会長
所 邦博

令和四年度 岡田公民館 専門委員の紹介

●町内公民館長

- 山 浦 丸山 邦博
- 伊 深 青木 保
- 岡 町 佐藤 浩生
- 東 区 宮川 嗣生
- 塩 倉 大澤 英俊
- 神 沢 瀧澤真知夫
- 松 岡 平林 伸一

●体育委員

- 山 浦 柳原 元気
- 伊 深 西村 昇
- 岡 町 藤井とよみ
- 東 区 福嶋 佳和
- 塩 倉 赤羽 史夫
- 神 沢 中條今朝文
- 松 岡 関口 光子

●図書委員

- 岡 町 胡桃沢美枝
- 伊 深 横山 史恵
- 東 区 田中 紀子
- 東 区 北岡 房枝
- 東 区 村山 寿子
- 松 岡 中川 信子

●運営委員

- 女鳥羽中学校長 栢木 藤雄
- 岡田小学校長 野口 成彦
- 岡田保育園長 加藤久美子
- 町会連合会長 鳥羽 孝和
- 財産区議長 岡村 時則
- J A女鳥羽支所長 村上 秀俊
- J A女性部支部長 山口登志恵
- 女鳥羽中PTA会長 桑山 一茂
- 岡田小PTA会長 西村 裕之
- 民生児童協議会長 倉田美智子
- 子ども会育成会長 三浦 好弘
- 健康づくり推進委員長 宮澤いずみ
- 児童センター館長 牛越 正博
- 町内公民館長 7名
- 専門委員委員長 5名

●公民館職員

- 公民館長 深井久仁彦
- 公民館主事 田中 貢治

※◎委員長○副委員長

あかちゃんの タッチケア講座

4月22日

岡田地区
福祉ひろば
では、助産
師の中野明
子さんをお
迎えし、歩
き出す前の
赤ちゃんの
その保護者

を対象に「タッチケア講座」が
開催されました(参加費無料)
タッチケアとは

赤ちゃんとお母さんが見つけ合い、語り
掛けながら赤ちゃんの素肌に
しっかりと触れてあげたり、マッ
サージをしてあげたりする、ス
キンシップの方法の1つです。
当日は暖かいひろば全体に6
組の親子が広がって、中野さん
の声掛けや歌に合わせて、赤
ちゃんの肌をリズムカルに触れ
たりマッサージしたり、赤ちゃん
に声掛けをしたり...



最初はこわごわだったお父さんお母さんも、だんだん慣れてとても楽しそうに赤ちゃんへの声掛けやタッチが出来ているようでした。赤ちゃんの月齢も2



9か月程。中には、寝返りをして動きだそうとしてしまうお子さんもいて、なかなかお手本通りにはいきません。それも成長を感じる嬉しい事だったのではないでしょうか。最後には初

めて会った方でもママ友パパ友となり、和気あいあいでした。(三枝)



○次回タッチケア講座 11月
○離乳食教室 7月22日

福祉ひろばでは
毎週金曜日
AM10時~PM5時
のびのびの日
親子に開放して
います。冷暖房完備
されています
ご利用ください

植林&しいたけコマ打ち体験

4月24日

今年も例年通り、財産区、子ども会育成会、公民館の共催にてアカマツの植林、しいたけのコマ打ちの体験会が行われました。

参加者は37人でしたが、コロナ感染対策のため2台の市のバスに分乗し財産区有林まで行き、植林体験をしました。当日は曇り空で、寒くも暑くもなくちょうど良い天候に恵まれました。後半のしいたけのコマ打ちは岡田公民館の駐車場にて行いました。コマを打った「ほだ木」は、それぞれの自宅に持ち帰り1年半~2年しいたけを育て収穫します。(体験取材 三枝)



歴史看板設置

岡田歴史研究会
菅田 勝弘

岡田の地は縄文の昔から多くの人が生活して遺跡、遺構などが数多く残っています。岡田歴史研究会では従来個別には調査されていた資料や埋もれていた資料などを様々な角度から研究・検討を進め、この地域の歴史を系統立てて発掘、取りまとめを行っています。この地域に住んでいても中々こうした事を知る機会は少なく、一部の歴史研究者の資料の中だけに留まってしまうことも少なくありません。研究会では成果を書籍にして頒布したり、歴史看板を建てるなどをして地域の方に知っていただく活動なども積極的に進めています。

令和3年度の事業では4基の歴史看板を設置しました。
① 三峰講のやしろ
秩父の山中に棲息する狼(大神)を猪などから農作物を守

る眷族・神使とし、さらに、これが盗賊や災難から守る神と解釈されるようになり、江戸時代に秩父市三峰にある三峰神社から護符を受けるための講が、関東・東北・信州などに数多く組織されました。津島さまのやしろ

② 津島さまのやしろ
この津島様は、この地で、江戸時代の終わり頃に疫病がはやり、愛知県津島神社に詣で、お札をもらい、社をつくったことが起源といわれています。

③ 中の沢窯群址
田溝池周辺から山田地籍にかけて数多くの窯址が発掘されていて、奈良時代から平安期にかけて窯業生産は長野県でも有数の一大生産地だったことが分かります。

④ 海福寺
創建年の詳細は不明ですが本尊の聖観世音菩薩立像は鎌倉後期作と推定されています。信濃百番札所の二十四番札所場所は時代で移動しており、寛政4年(1792)に現在地に移設されました。

岡田地区内にはこうした様々な歴史に関わる看板が今回の物も含め既に50~60基を超えて建てられています。歴史看板が目につくと、興味を持たれたら岡田歴史研究会が開催している定例の勉強会へ参加してみてください。(連絡は岡田公民館まで)